

みちの会 だより

<http://www.aichi.michinokai.cc> 発行責任者 片桐 眞砂子

平成 27 年度 総会 ・ 第 1 回全体会のお知らせ

日 時 : 平成 27 年 4 月 18 日 (土) 総会 10:00~
第 1 回全体会 13:00~
場 所 : 阿久比町勤労福祉センター (エスペランス丸山)

平成 26 年度活動報告・会計報告 ・ 会則 (案)

平成 27 年度新会員紹介・退会会員報告

平成 27 年度新役員・幹事紹介

全体会、27 年度活動について 他



■第 4 回 全体会報告

H27 年 1 月 16 日 (金)

しあわせ村にて(東海市) 10:00~12:00迄

議題: 1、フォーラムについて

2、会則変更について

3、運営上の課題と

今後のみちの会のあり方について

会則について、規約変更等の重要な議案も 1/2 の決議でよいか? 今後の変化に対応出来るようにするために細かく決めない方が良い。委任状の扱いがわかりにくいため紙面に記載すると良いなどの意見が出た。

現在抱える問題として、新会員の参加・幹事の選出が困難であることが各地域共通している。問題解決のためには、「会の活動を見直すあるいは変えていく必要がある。」という意見が多く出た。みちの会の良いところ、足りないところ、これからどのようにしていくと良いかなどの意見交換が活発に行われた。

■第 5 回 全体会・新年会報告

H27 年 2 月 11 日 (水)

ノンナ・カコーレにて(東海市)

全体会 11:30~ 新年会 12:00~

議題: 1、フォーラムについて、関係経費報告

良かったこと、改善すべきこと

2、会則改正 (案) の確認

3、今後のみちの会、現在の課題について

風もなく良いお天気に恵まれた。新鮮な地元野菜たっぷりの美味しいお食事を頂き、日頃忙しく活躍されている会員同士の交流が行われた。各地域での情報交換・現在の状況を話し合う中で、私達に何が出来るかなど話題も広く語り合った。



第27回 みちの会フォーラム ～未来を創る女性の生き方～

未来へ活かす男女共同参画Ⅱ

平成27年2月1日(日) 13:30～15:30

講師： 嘉田 由紀子氏・・・びわこ成蹊スポーツ大学学長・前滋賀県知事

参加者数： 会員 54名、一般(196名) 250名

(東海市しあわせ村多目的ホールにて)

講演の冒頭、「日本ではなぜ仕事と子育ての両立が難しいのか。それは偏に政治の問題です。」と切り出された。誰かがどこかで話ではなく、自分自身の問題として、家族の働き方やなぜ自分はこの人生設計になったのか、振り返って考えてもらいたいと。嘉田氏は海外で環境研究を進める中で第1子を授かり、悩んだ末、子育てとの両立を決意する。留学先の恩師から、「24時間のうち23時間は研究をし、1時間は母親として子どもに愛情を注ぎなさい」と心強いアドバイスをもらい、帰国後は研究の拠点を憧れの琵琶湖に置き、子育てしながら研究と勉強を続けた。その後第2子も授かり様々な人にお世話になりながら、31歳で6歳と2歳の子を抱えながら県職員として働き続けた。国策のもとに推進する琵琶湖総合計画や税金の無駄使いに不安や疑問を感じ、2006年“もったいない”を合い言葉に選挙に当選する。「私に関係ない」と思われがちな「遠い政治」の話を、暮らし言葉で分かりやすく情報を伝える“見える化”“自分化”戦略で、私に関係する「近い政治」に変えていった。



授かり様々な人にお世話になりながら、31歳で6歳と2歳の子を抱えながら県職員として働き続けた。国策のもとに推進する琵琶湖総合計画や税金の無駄使いに不安や疑問を感じ、2006年“もったいない”を合い言葉に選挙に当選する。「私に関係ない」と思われがちな「遠い政治」の話を、暮らし言葉で分かりやすく情報を伝える“見える化”“自分化”戦略で、私に関係する「近い政治」に変えていった。

嘉田県政の8年間では特に子育て、女性参画を重視し、女性が働き続けることには社会的メリットがあることを強く訴え、数々の施策を展開していった。「女性の労働参加率の高いところは、出生率も高い」ことについては、国内外を問わず統計的なデータがあり、滋賀県では子育て中の就業希望者へ、働く場への架け橋として『マザーズジョブステーション』を作った。年間1万人の相談者に、就職できたのは600人くらいだが、それだけ心配が多いのであり地道な支援が必要であることが分かる。さらに、仕事と子育ての両立を推し進めるには、男性の長時間労働の是正、男性の性別役割分担意識の改革、家事育児への参画が不可欠であり、中でも職場における理解は非常に重要。男性の育児休業取得率は全国的にも低くゼロに近い。個人的には休業ではなく“育児介護参画法”だと訴えてきた。知事自ら育児の大切さを手紙で訴え、「行政マン、担当者、人間としての能力も磨かれるので、ここはぜひ経験してください。」と。所属長にも「切り抜けてくれ」と書いて勧めてきた。そして最後は女性自身の意識改革が大切。本人がジャンプしてこそ未来を創ることができるのだから、と締めくくられた。

来場者から共感の
熱い拍手を頂いた。

(近藤)



Cブロック(常滑市、東海市、知多市)からの報告

「女性のための働き方セミナー」～知って納得 法律・社会保険の話～

平成 27 年 1 月 14 日 (水) 10:00～12:00

知多市市民活動センター2 階会議室にて

講師：岩田 純 氏 特定社会保険労務士・名古屋学芸大学・星城大学非常勤講師

今年度の C ブロックは、女性管理職の方々にインタビューし、女性の働き方について考えてきました。その過程で、働く女性に関する法律や保険について、知っているようで知らないことが多いことに気づきました。そこで、岩田純氏を講師に迎え学習会を開催しました。あらかじめ会員から、知りたいこと（産休・育休手当、年金制度、扶養家族など）を聞き、岩田氏に伝えていたので、それらの内容を組み込んで丁寧に社会保障・保険について話してくださいました。

例えば、出産に関する経済的支援は、

- ・ 出産育児一時金（42 万円/1 人）財源→健康保険
- ・ 出産手当金（標準報酬日額×2/3×日数※国保除く）財源→健康保険
- ・ 育児休業給付金（賃金日額×1/2×日数※1 歳まで）財源→雇用保険

そして最後に岩田さんは、「働き方を再考しよう」「社会保障制度をもっと知ろう」と、締めくくられました。

(山中)



岩田 純 氏

Dブロック(半田市、大府市、阿久比町、東浦町)からの報告

■大府市の活動 第 6 回コラピアまつり参加 平成 27 年 3 月 1 日 (日) 10:00～15:00

場所：大府市市民活動センター【コラピア】

企画：登録団体が参加するファンレイジングイベント、作品展示・販売、軽食販売、ステージ

すべての企画が各団体からのエントリー制です。今回は 31 団体がエントリーしました。私たちは D ブロックで実施した「子育て支援に関するアンケート」の結果の一部をパネル 1 枚 (B 紙約 2 枚半) 分にまとめて展示しました。

ファンレイジングというのは、活動に共感した団体に寄付することで、活動がより拡大・促進するように応援します。社会的課題の解決が進むことが、回りまわって寄付者に還元されるということです。投票箱は各団体の手作りです。投票券は、受付で投票券付きの花苗か、ペットボトルを購入します。投票券の獲得率によって各団体に資金が分配されます。さあ私たちはどれだけ獲得できるでしょうか？



朝からあいにくの雨でしたが、会場は中高生や企業のボランティアさんですでにいっぱいです。(雨のおかげで) 展示場所は中央ホールの誰もが通る好位置になりました。私の説明を聞いて、地味～な地道な活動！？に賛同して下さった男性がバルーンアートで途中から応援して下さいました。説明を聞いた人に花・ハート・動物・剣など作ってプレゼントしてくれました。おかげで子ども連れのお母さんやお父さん、中学生たち、いろいろな世代にしっかり話ができて、また、生の声を聞く

ことができました。地味～な活動！の継続が大切だと再確認しました。

(山本)

■半田市の活動 「2015 女と男のつどい」 半田女性活動連絡協議会主催：半田市市民協働課
日時：2015年2月22日(日)13時00分～15時30分 会場：雁宿ホール
内容：「私たちの都～ワッゲンオッゲン～」上映 主演：大竹しのぶ 他、来場者：約570名
ロビー展示：「男女共同参画の日活動紹介」「介護講座紹介」「DV講座紹介」

ワッゲンオッゲンとは、俺のうちお前のうちという意味で過疎地・熊本県天草市牛深地区を舞台にまちの活性化に挑む女性と都会からのIターン女性たちが町おこしをする姿を描いた映画です。笑いあり涙あり、見終わって「さあ、私たちも！」のパワーをもらいました。

このイベントは、女性男性、障がいのあるなしにかかわらず、誰もが同じように映画を楽しめるように心がけています。耳の聞こえの困難な方へ日本語字幕、視覚障がいの方へはシーンボイスガイドが利用できます。車イス利用の方も来ていただき、毎年多くの方に楽しんでもらっています。(加藤)



■会則改定について

第1回全体会にて、幹事を含む各ブロックから構成する10名のメンバーで「会則改正プロジェクトチーム」が立ち上がり、時代の変化に耐えうる柔軟性のある「会則」をめざし、協議を重ねてきました。チーム会議は開催こそ4回と限られましたが、メールでのやり取りで補足しながら中身の濃い話し合いが重ねられたと思っています。

第2回全体会で提起した4点について意見を聞き、第3回全体会で「会則改正案」を提示しました。第4回全体会でブロック会での意見をさらに聞き、第5回全体会で最終見解の報告とともに再提案をしました。この1年、常に会員の皆様と一緒に考える姿勢で取り組んでくることができました。会を運営するにあたり、「会則」は大事な拠りどころとなるものですが、入会して数年、別段気にすることもなく過ごしてきました。今回プロジェクトチームに関わることで「地域開発みちの会」の歴史、活動を理解するまたとない良い機会となりました。

平成27年度の総会で、提案します「会則改正(案)」が承認されることを願います。(吉見)



■平成26年度愛知県男女共同参画人材育成事業フォローアップ講座に参加して

平成27年度1月7日(水)ウイルあいち13:30～15:30迄 佐藤久美氏(金城大学国際情報部教授、英文情報誌アベニューズ代表、あいち国際映画祭イベントディレクター、NPO法人愛知善意がトネットワーク副理事長)
内容：英文雑誌編集をするようになったいきさつ、多く出会いから学んだこと、大学に入ってから学び直し、出会いを大切に行動し続けてきたことで現在の自分の活動になっているというお話をお聞きしました。専業主婦であった彼女の積極的な生き方を学んだ。(水野)

—編集後記—

- * 「みちの会便り」への皆さまのご協力に感謝致します。活動を通じて多くの方との繋がりを感しました。みちの会の未知なる活動、女性の活躍が、今後ともますます発展していくことを願っています。
- * この1年間多くの事を学ばせていただきました。これからも地域の声、女性の声を生かし女性が働きやすい開かれた地域社会の発展をみんなで考えていきたいと思ひます。

御意見・問い合わせは メールにてお寄せ下さい (編集委員 水野・大野)
地域開発みちの会 <http://www.aichi.michinokai.cc/toiawase.html>

